

成果指標				
成果指標	家庭系可燃ごみ収集量(t)			
指標設定の考え方	ごみの分別の徹底、資源ごみのリサイクル化を推進することにより、可燃ごみが減少するため。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目標	6020	5743	5473	5204
実績	6361	6090	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	「ごみ収集カレンダー」「ごみの出し方分け方」「ごみ分別辞典」「ごみ分別の手引き」これらゴミの分別回収に関する啓発資料を多く発行しているが、生活様式の変化に伴いゴミの種類も多様化していることから、最新の表現に内容を見直す時期がきている。内容を精査して分かり易く分別方法を掲載することで、分別による家庭ゴミの排出量が減らすと同時に、リサイクル率の向上を目指したい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	「ごみ収集カレンダー」「ごみの出し方分け方」「ごみ分別辞典」「ごみ分別の手引き」これらゴミの分別回収に関する啓発資料を多く発行しているが、生活様式の変化に伴いゴミの種類も多様化していることから、全体の資料を見直し、高齢者向けに文字は大きく、判りやすくまとめた資料にする必要がある。さらに分別への理解を進めることにより、リサイクル率を高め、ゴミの減量につなげていきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会の抽出事業により、外部評価に諮ることとする。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・ごみ収集運搬事業からごみ処理事業となった。こういう形で一本化するのが分かりやすいと思う。・それぞれの事業内容や効率・効果を高める実績の全ては書ききれないと思うが、事業全体の姿が分かるよう詳しく書いた方がよい。・資源ごみの回収活動には地域や障害者団体も参加しており、大事なことである。そういう指標や実績が表れると、市民の協力で減量できていると明確になると思う。市民を含めた協力により循環型にしていくのが大事だと強調いただければと思う。・高齢者世帯や一人暮らしの家庭がどんどん増えている。日常のごみ出しにも苦勞しているという情報をしっかり集めることも大事だと思う。・ごみ収集において、こういうごみの出し方は問題だと、イラストなり写真なりで事例紹介をしっかりとやっていただきたい。・ごみ収集は市民生活にとって欠かすことのできない事業である。・一部野焼きをする人がいるのではないかと。真っ先にやってはいけない事例の中に盛り込み、啓発すべきだと思う。</p>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>下記の点を見直しの上、継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>市民に欠かすことのできない事業であり、分別による家庭ごみ排出量の減少、リサイクル向上に努めること。</p>